

令和2年度
(2020年度)

一般入試
学生募集要項



〔愛媛大学の個別学力検査等実施日程〕

入試区分・学部 事 項		前 期 日 程	後 期 日 程
		法文学部, 教育学部, 社会共創学部 理学部, 医学部, 工学部, 農学部	法文学部, 教育学部, 理学部 医学部, 工学部, 農学部
インターネット 出願期間	出願情報の登録期間	令和2年1月20日(月) 10時～2月5日(水) 16時	
	検定料の支払期間	令和2年1月27日(月) 0時～2月5日(水) 16時	
	出願書類の提出期間	令和2年1月27日(月)～2月5日(水) 〔2月5日(水)の消印有効〕 【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び2月6日(木)以降に配達されたもののうち、2月5日(水)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	
個別学力検査等実施日		法文学部, 社会共創学部, 理学部, 工学部, 農学部 令和2年2月25日(火) 教育学部, 医学部 令和2年2月25日(火)～26日(水)	法文学部, 教育学部, 理学部, 工学部, 農学部 令和2年3月12日(木) 医学部 令和2年3月12日(木)～13日(金)
合 格 者 発 表		令和2年3月6日(金) 10時	令和2年3月22日(日) 10時
入 学 手 続 期 間		令和2年3月15日(日) 17時必着 原則として郵送	郵送する場合 令和2年3月27日(金) 17時必着 持参する場合 令和2年3月26日(木)・27日(金) の9時～17時

注1 個別学力検査等とは、一般入試において本学が課す学力検査・実技検査・小論文・総合問題・面接等をいいます。

注2 前期日程と後期日程では選抜方法等が異なります。また、教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース 幼年教育サブコース、中等教育コース、特別支援教育コース、社会共創学部及び医学部看護学科は後期日程での選抜は行いませんので、本要項を熟読の上、間違いのないように出願してください。

〔大学入試センター試験実施日〕

令和2年1月18日(土)・1月19日(日)

出願方法は、インターネット出願のみとなります。

志願者がパソコン等インターネット環境を持たない場合でも、保護者等の所有する端末や、公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用する等の方法で出願は可能です。

また、出願情報の登録期間内の平日9時から17時まで入試課窓口に出願用のパソコンを用意していますので、利用を希望する場合は事前に教育学生支援部入試課にご相談ください。

上記のいずれの方法によってもインターネット環境が利用できない場合は、令和2年1月17日(金)の17時まで教育学生支援部入試課(68ページ参照)までご相談ください。

目 次

教育学部の改組予定について（令和2年4月改組）	2
アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）	3
I 募集人員	7
II 出願資格	8
III 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の確認等	8
IV 出願手続	9
1 志願学部の選択	9
2 志望学科等の選択	9
3 一般入試工学部工学科理型入試における出願時の希望分野	10
4 出願方法（インターネット出願）	10
5 出願受付期間	11
6 出願書類等の送付先	11
7 出願手順，支払方法，出願書類	12
8 検定料の返還	19
9 受験票等の送付	19
10 注意事項	19
V 入学者選抜方法	20
VI 入学者選抜の教科・科目及び配点等	21
○ 法文学部	21
○ 教育学部	24
○ 社会共創学部	31
○ 理学部	35
○ 医学部	38
○ 工学部	42
○ 農学部	48
VII 個別学力検査等の実施日時及び試験場	52
VIII 合格者発表	55
IX 入学手続	55
X 受験上の注意	57
XI 合理的配慮を希望する入学志願者の出願	58
XII 欠員補充の方法	58
XIII 初年度の諸経費等	59
○ 履修コース	60
○ 入試実施状況（平成29年度～平成31年度）	64
○ 平成31年度入学者選抜当初合格者の成績一覧	67
○ 入学試験の照会方法	68
○ 試験場・試験場案内・交通機関案内	69
○ 入学試験個人成績及び調査書の開示	73
○ 正解・解答例又は出題意図の開示	74
○ 個人情報の取扱い	74
○ 愛媛大学入試情報サービス	75

教育学部の改組予定について (令和2年4月改組)

愛媛大学は、下記のとおり、令和2年4月に教育学部を改組します。教育学部は、学校教育教員養成課程と特別支援教育教員養成課程を改組し、学校教育教員養成課程の1課程になります。

記

教育学部の改組 (令和2年度)

(改組前)

課程・コース・専攻				
学校教育教員養成課程	初等教育 コース	幼年教育サブコース		
		小学校サブコース		
	中等教育 コース	言語・社会 教育系	国語教育専攻	
			社会科教育専攻	
			英語教育専攻	
		自然科学系	数学教育専攻	
			理科教育専攻	
			技術教育専攻	
			音楽教育専攻	
		芸術・生活 健康系	美術教育専攻	
			保健体育専攻	
			家政教育専攻	
	特別支援教育教員養成課程			



(改組後)

課程・コース・専攻		
学校教育教員養成課程	初等教育 コース	幼年教育サブコース
		小学校サブコース
	中等教育 コース	国語教育専攻
		社会科教育専攻
		英語教育専攻
		数学教育専攻
		理科教育専攻
		技術教育専攻
		音楽教育専攻
		美術教育専攻
		保健体育専攻
		家政教育専攻
	特別支援教育コース	

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部

法文学部は、人文社会諸科学の知識を基盤とした幅広い教養と、実践的な知恵を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材の育成を目指します。グローバル化した現代社会においては、グローバル・マインド（glocal mind）（世界と自分が生きている地域とを有機的全体と捉え、地域の問題と世界全体の問題とを連関させてその解決策を考えようとする心の在り方）を持って、生涯にわたり学び続け、その成果を実践に活かせる人間を育成しなければなりません。このような理念・目的を達成するために、法文学部では、次のような資質や能力、意欲を持った学生を求めています。

〈求める入学者像〉

（知識・理解）

（1）高等学校で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

（思考・判断）

（2）物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

（3）人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

（技能・表現）

（4）所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

教育学部

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。そのために、学生は関係分野に関する専門的学識を修得し、子どもと多様にかかわり、そしてそれらを考察しつつ、資質能力の向上を図ります。

教育学部学校教育教員養成課程は、初等教育コース・中等教育コース・特別支援教育コースからなり、教育学部の理念・目的を達成するために、次のような資質能力を有する学生を求めます。

〈求める入学者像〉

（1）入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

（知識・理解）

① 高等学校で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（知識・理解、技能）

② 教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。

（思考・判断・表現）

（2）物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

（興味・関心・意欲）

（3）子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。

（態度）

（4）積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

社会共創学部

社会共創学部は、様々な地域社会の持続可能な発展のために、地域の人達と協働しながら、課題解決策を企画・立案することができ、地域社会を価値創造へと導く力を備えた人材を育成します。

このため、社会共創学部では、以下のような入学者受入の方針を定め、地域の課題解決に取り組む意欲のある人材を求めます。

〈求める入学者像〉

(知識・実技)

(1) 高等学校で履修する範囲の基礎学力又は専門的な知識ないし実技力を有している。

(思考・判断)

(2) 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

(3) 地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

(4) 様々な人々とグループワークしながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

(5) 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書で表現できる。

理学部

科学は、数理、物質、自然、生命を支配する原理や法則を探究する学問であり、身の回りの「何故」に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、数学・数理情報、物理学、化学、生物学、地学の理学5基幹分野を基盤に、宇宙・地球・環境に関連する学際的分野に携わる先端研究・学術推進機構の研究センター群と協働して教育・研究を実施しています。理学部は、数理・物質・自然・生命にかかわる事柄に広く興味を持ち、科学を体系的に学習して理系人材として社会で活躍しようと志す入学者を受け入れ、各教育コースの特徴ある専門教育を通して汎用能力を有す理系人材として育成し、社会に送り出します。この目的のために、理学部では次のような入学者を求めます。

〈求める入学者像〉

1. 高校課程修了レベルの知識・教養を広く修得しており、自律的に学習を進める準備がある。
2. 高校課程の数学または理科の十分な基礎学力を有し、数理・物質・自然・生命の探究に興味を持ち、科学をさらに深く学び理解しようとする意志がある。
3. 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
4. 継続的な学習により成長し、倫理観・責任感をもって主体的に社会とかかわり貢献しようとする志を持っている。

医学部

医学部の基本理念は「患者から学び、患者に還元する教育，研究，医療」です。これは「医療人は生涯にわたって病める人の身になって病苦と取り組み，人々の健康と福祉に貢献する」という精神を含んでいます。この理念に基づき，医学部は医学・看護学の知識や技術を教育するだけでなく，人間の尊厳を重んじる豊かな人間性と幅広い教養を育み，深い洞察力と生命倫理や生命の尊厳に対する深い認識を備えた医療人の育成をめざしています。また，進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける態度を身につけるため，少人数による課題探求型の教育にも力を入れています。地域医療を含む日本の保健・医療・福祉に広く貢献できる人材の育成を目指し，一般入試に加えて，推薦入試などの様々な入試方法も採用しています。

そこで，医学部は次のような資質を有する学生を求めます。

〈求める入学者像〉

(知識・理解，思考・判断)

(1) 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

(興味・関心・意欲，態度)

(2) 人間が好きで，生命に対する倫理観がしっかりしている。

(3) 医学・医療に対する意欲や関心度が高く，この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている。

(4) 入学後も，生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。

(技能・表現)

(5) 幅広い人間性，柔軟性と協調性を有し，周囲の人と良好な関係を保つことができる。

(6) 自分の考えや行動に責任を持ち，それを相手に明確に示すことができる。

工学部

工学部工学科は，工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため，工学科では次のような人物を求めます。

〈求める入学者像〉

(知識・理解)

(1) 本学科の専門分野を学ぶために必要な，高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

(思考・判断，技能・表現)

(2) 物事を多面的に考察し，論理的にまとめ表現することができる。

(3) 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(興味・関心・意欲，態度)

(4) 工学の分野に興味を持ち，習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

(主体性・多様性・協働性)

(5) 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

(6) 多様な他者と関わり，相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

農学部

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。

〈求める入学者像〉

(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

I 募集人員

学部名	学科・課程等	入学定員(人)	合計(人)	募集人員						備考
				一般入試		AO入試		推薦入試		
				前期	後期	大学入試センター試験を課さない(AO入試Ⅰ)	大学入試センター試験を課さない(AO入試Ⅱ)	大学入試センター試験を課さない(推薦入試Ⅰ)	大学入試センター試験を課さない(推薦入試Ⅱ)	
法文学部	人文社会科学 「昼間主コース」 「夜間主コース」	275 90	365	175 40	50 20	35 10	15 10		10	社会人入試はアドミッション・オフィス方式
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース 中等教育コース 特別支援教育コース	160	160	6 56 (4) (4) (4) (4) (3) (3) (3) 12	10	18 4 7 8		10		
社会共創学部	産業マネジメント学科 産業イノベーション学科 環境デザイン学科 地域資源マネジメント学 農山漁村マネジメントコース 文化資源マネジメントコース スポーツ健康マネジメントコース	70 25 35 50	180	48 13 25 5 8 12		5 12 10 25	17			
理学部	理学 数 学 受 験 物 理 受 験 化 学 受 験 生 物 受 験 地 学 受 験 A (数 学) B (面 接) 数学・数理情報コース 物 理 学 コ ー ス 化 学 コ ー ス 生 物 学 コ ー ス 地 学 コ ー ス	160 23 42	225	42 40 40 30 8 13 10			10 5 8 7 12			
医学部	医 学 科 看 護 学 科	95 60	155	40 33	25			(*)30 24	3	
工学部	工 学 科 機 械 工 学 コ ー ス 知 能 シ ス テ ム 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス コ ン ピ ュ ー タ 科 学 コ ー ス 応 用 情 報 工 学 コ ー ス 材 料 デ ザ イ ン 工 学 コ ー ス 化 学 ・ 生 命 科 学 コ ー ス 社 会 基 盤 工 学 コ ー ス 社 会 デ ザ イ ン コ ー ス	500	500	326 [13]	88 [6]		2 2 5 2 8 2 3 5 3 3	12 2 15 4 8 8 5 5 3		
農学部	食 料 生 産 学 科 生 命 機 能 学 科 生 物 環 境 学 科	70 45 55	170	38 27 28	7 5 6	7 7 5	18 6 16	若干人 若干人 若干人		前期日程の募集人員には、社会人入試の募集人員(若干人)を含む。
合 計			1,755	1,081	234	52	118	108	149	13

注1 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コースの表中の()の数は、各専攻の合格予定者数を示します。
 注2 理学部の前期日程(数学受験、物理受験、化学受験、生物受験、地学受験)及び後期日程(A(数学)、B(面接))は受験科目を選択するためのものです。入学後の所属については、61ページの4を参照してください。
 注3 医学部医学科推薦入試Ⅱの人数は、推薦A(学校推薦)25人、推薦B(地域特別推薦)5人の計とします。
 注4 工学部工学科一般入試(前期日程・後期日程)は、工学科全体で募集します。また、表中の[]の数は「文理型入試(社会デザインコース)」の募集人員を内数で示します。
 注5 工学部工学科推薦入試では、コースごとに選抜します。
 ※ 推薦入試Ⅱの医学部医学科推薦B(地域特別推薦)については、現時点で確定している募集人員は5人であるが、これを20人になるように現在調整中です。確定次第、本学ホームページに掲載します。

Ⅱ 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する令和2年度大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔参考〕学校教育法施行規則第150条の規定内容

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

注 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する者については、本学において個別の入学資格審査を行うので、令和2年1月21日（火）までに必要書類を添えて申請してください。

なお、申請者は、申請の前に、下記まで問い合わせてください。（入学資格審査の詳細については、本学のホームページ〔入試情報＞入試要項（学部）＞個別の入学資格審査〕（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/individual>）で公表しています。）

愛媛大学教育学生支援部入試課（松山市文京町3番）

電話番号 089-927-9172, 9173

Ⅲ 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目の確認等

- (1) 本学では、過年度の大学入試センター試験成績の利用は、行いません。
- (2) 出願にあたっては、各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していることを、「Ⅵ 入学者選抜の教科・科目及び配点等（21～51ページ）」の「1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等」の表により確認してください。特に「地理歴史、公民」と「理科」の基礎を付していない科目のいずれか又は両方において1科目のみが採用される場合、2科目受験者については、第1解答科目を採用しますので、第1解答科目が各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目であることを十分に確認してください。また、「理科」の基礎を付した科目が採用される場合、受験者が選択した2科目とも採用しますので、2科目とも各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目であることを十分に確認してください。
- (3) 各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができません。

Ⅳ 出 願 手 続

1 志願学部を選択

前期日程の学部・学科等から1つ，後期日程の学部・学科等から1つを選んで出願してください。
 この場合，前期日程及び後期日程に本学の異なる学部・学科等を選ぶことも可能ですし，同じ学部の学科等を選ぶこともできます。

2 志望学科等の選択

志望学科等の選択は以下のとおりとします。

(1) 教育学部志願者

前期日程……表1に示すコース・専攻の組み合わせにおいて，第2志望を認めます。

個別学力検査の選択科目により選択できるコース・専攻の組み合わせが決まり，その組み合わせは表2の示すとおりとします。

表1

	Aパターン	Bパターン	Cパターン	Dパターン
第1志望	初等教育コース (幼年教育サブコース)	初等教育コース (小学校サブコース)	初等教育コース (小学校サブコース)	中等教育コース 各専攻
第2志望	初等教育コース (小学校サブコース)	初等教育コース (幼年教育サブコース)	中等教育コース 各専攻	初等教育コース (小学校サブコース)

注1) 初等教育コース（幼年教育サブコース）と中等教育コース間の第2志望は認めません。

注2) 中等教育コースの専攻間での第2志望は認めません。

注3) 初等教育コース小学校サブコース受験者が「音楽実技」又は「美術実技」を選択した場合，2志望制を利用することは認めません。

注4) 特別支援教育コースは2志望制は実施しません。

表2

個別学力検査の受験科目 (1科目選択)		国語総合・ 現代文B・ 古典B	数学Ⅰ・ 数学Ⅱ・ 数学A・ 数学B	数学Ⅰ・ 数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・ 数学A・ 数学B	物基・物. 化基・化. 生基・生. 地学基・地学 から1つ 選択	コ英Ⅰ・ コ英Ⅱ・ コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	体育 実技	音楽 実技	美術 実技
学校教育 教員養成課程	幼年教育サブコース	○	○	△	○	○	△	△	△
	小学校サブコース	○	○	○	○	○	○	○	○
	国語教育専攻	○	△	△	△	△	△	△	△
	社会科教育専攻	○	△	△	△	○	△	△	△
	英語教育専攻	△	△	△	△	○	△	△	△
	数学教育専攻	△	○	○	○	△	△	△	△
	理科教育専攻	△	△	△	○	△	△	△	△
	技術教育専攻	△	○	△	○	△	△	△	△
保健体育専攻	△	△	△	△	○	△	○	△	
家政教育専攻	○	○	△	○	○	○	△	△	

志望例1 受験科目：国語

第1志望 → (初等) 幼年教育コース，第2志望 → (初等) 小学校サブコース

志望例2 受験科目：英語

第1志望 → (初等) 小学校サブコース，第2志望 → (初等) 幼年教育サブコース

志望例3 受験科目：数学(Ⅲを含む)

第1志望 → (初等) 小学校サブコース，第2志望 → (中等) 数学教育専攻

志望例4 受験科目：体育実技

第1志望 → (中等) 保健体育専攻，第2志望 → (初等) 小学校サブコース

※ただし，第2志望は「なし」でも構いません。

(2) 社会共創学部志願者

志望学科等は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(3) 医学部志願者

志望学科は第1志望のみとし、第2志望は認めません。

(4) 農学部志願者

前期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

後期日程……志望学科は、第3志望まで認めます。

3 一般入試工学部工学科理型入試における出願時の希望分野

一般入試には理型入試と文理型入試があり、理型入試の志願者は出願時に4分野に対する希望順位をつけます。ただし、希望順位は合否判定に関係しません。

学科	分野	コース
工学科	機械・システム分野	機械工学コース
		知能システム学コース
	電気・情報分野	電気電子工学コース
		コンピュータ科学コース
		応用情報工学コース
	材料・化学分野	材料デザイン工学コース
		化学・生命科学コース
	土木・環境分野	社会基盤工学コース
		社会デザインコース

4 出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

インターネット出願サイトURL https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/

以下の方法により、出願手続をしてください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の登録
- ③ 検定料の支払*
- ④ 出願書類の郵送

これらの詳細な手続については、12ページから20ページを確認してください。

*検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
- (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページをご覧ください。(<https://www.ehime-u.ac.jp/post-94204/>)

5 出願受付期間（前期日程及び後期日程）

出願情報の登録期間	令和2年1月20日(月) 10時～2月5日(水) 16時
検定料の支払期間	令和2年1月27日(月) 0時～2月5日(水) 16時
出願書類の提出期間	令和2年1月27日(月)～2月5日(水)〔2月5日(水)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び2月6日(木)以降に配達されたもののうち、2月5日(水)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

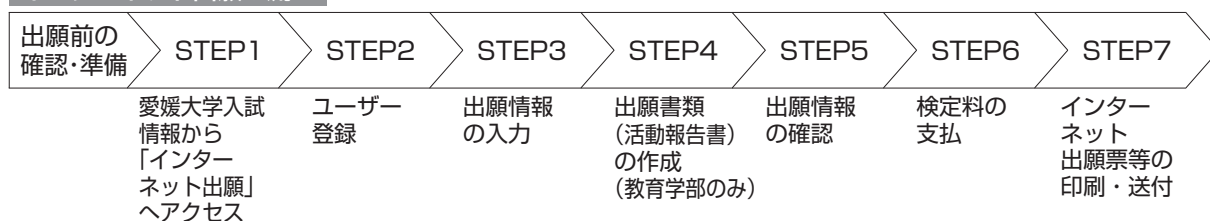
6 出願書類等の送付先

送 付 先	所 在 地	電 話 番 号
愛媛大学教育学生支援部入試課	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9172, 9173

7 出願手順, 支払方法, 出願書類

1) 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力が完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP6）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows : Internet Explorer 11.x Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 10.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定 : JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件 : インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
- ・スマートフォン、タブレット端末を使用する場合、PDFファイルの印刷を行うために相応の知識が必要となります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

15ページの「2）支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG形式、3MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、16ページの「3）出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）〕及び受験票等返信用〔長形3号封筒（12cm×23.5cm）〕の市販の封筒が必要です。返信用封筒に貼る切手の額は、16ページの「3）出願書類」で確認してください。

また、「前期日程」、「後期日程」の両方に出願する場合は、それぞれの日程用の封筒・切手を用意してください。

STEP1 愛媛大学入試情報から「インターネット出願」へアクセス

愛媛大学入試情報>インターネット出願
https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/net_app/



四国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザー ID (メールアドレス) を登録すると、パスワード設定用の URL を記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザー ID・パスワードでログインし、「愛媛大学」を選択後、画面に沿って出願先、科目選択、個人情報(写真データを含む。)等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



STEP4 出願書類(活動報告書)の作成(教育学部のみ)

18ページ「4) 出願書類(活動報告書)入力上の注意」をよく読んで活動報告書を入力してください。

STEP5 出願情報の確認

出願情報の最終確認です。
確認画面で登録内容に間違いがないか確認してください。これ以降は修正できません。

STEP6 検定料の支払

(令和2年1月27日(月)0時～2月5日(水)16時)

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は15ページ「2)支払方法」を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例)コンビニエンスストアを選択した場合の画面

支払い内容

ファミリーマートでのお支払い FamilyMart

お支払い金額 xx,xxx円

第1番号(企業コード) xxxxx

第2番号(注文番号) xxxxxxxxxxx

お支払い情報送信 xxxxx 0 xxx.xx.jp 送信

支払い手続

- このページを印刷、または「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」を正確にメモしてください。
- ファミリーマート店舗の「FamilyMart」のトップメニューから「現金支払い」→「印刷券発行」を選択し、「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」の欄に入力してください。
- 発行された「FamilyMart申込券」をレジで提示し、支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP7 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後に届く「インターネット出願支払完了メール」記載のURL、又はインターネット出願サイトログイン後画面の出願履歴のいずれかからアクセスして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、16ページ「3)出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力が入力完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。


2) 支払方法



検定料：17,000円（法文学部「夜間主コース」は10,000円）


※別途、手数料が550円かかります。

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限りません）。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は19ページの「8 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）	
【支払期間】 令和2年1月27日（月）0時～2月5日（水）16時	
<ul style="list-style-type: none"> • JCB • Visa • MasterCard • Amex • Diners 	<p>これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ (カードの利用限度額を確認した上で利用してください。)</p> 

コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和2年1月27日（月）0時～2月5日（水）16時	
「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
<ul style="list-style-type: none"> • セブンイレブン 	レジで「インターネットショッピング代金の支払い」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ローソン • ミニストップ 	「Loppi」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ファミリーマート 	「Famiポート」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • デイリーヤマザキ • ヤマザキデイリーストア 	レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • セイコーマート 	「クラブステーション」で手続後、レジで現金支払

Pay-easy（ペイジー）（日本国内のみ利用可）	
【支払期間】 令和2年1月27日（月）0時～2月5日（水）16時	
「STEP6 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。	
<ul style="list-style-type: none"> • 金融機関ATM <p>対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • インターネットバンキング <p>インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可</p>	

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
最新情報は、出願サイトで確認してください。

<p>インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ 出願操作サポート窓口（コールセンター） 受付期間：令和2年1月20日（月）～1月24日（金）9時～17時 令和2年1月27日（月）～2月4日（火）9時～20時（土・日曜日含む。） 令和2年2月5日（水）9時～16時 電話番号：075-211-6556（運営会社：京都電子計算株式会社）</p>
--

3) 出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部入試係まで連絡してください。

書類等	摘 要	提出を要する者
インターネット 出 願 票	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 所定の箇所に令和2センター試験成績請求票を必ず貼ってください。 〔前期日程志願者〕… 前 国公立前期日程用 〔後期日程志願者〕… 後 国公立後期日程用 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	全 員
調 査 書	1 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、 <u>厳封したもの</u> を提出してください。 なお、出身学校等において指導要録が保存年限を超えた場合又はその他の事情により調査書が得られない場合には、以下のとおり取り扱います。 (1) 「卒業証明書」（理学部志願者は「卒業証明書」及び活動調書（下記参照））及び「成績証明書又は単位修得証明書」を提出してください。 (2) 上記のうち、「成績証明書又は単位修得証明書」が提出できない場合は、「卒業証明書」及び高等学校等が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を提出してください。 2 上記以外の者の調査書等については、「注「高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込み」以外の調査書等について」（17ページ参照）のとおりとします。	全 員
活 動 調 書	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/ ）からダウンロードし、本人が必要事項を記入したもの	理学部志願者のうち、調査書が提出できない者
活動報告書	出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 活動報告書A・B・Cのうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものを含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）提出して下さい。 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	教育学部 志願者のみ
参考資料等	「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意）、「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須） 詳細は18ページ「4）出願書類（活動報告書）入力上の注意」を参照してください。	
教育学部 実 技 検 査 票	〔前期日程〕 出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷後、必要事項を記入した もの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	教育学部学校教育教員養成 課程初等教育コース小学校 サブコースを志望する者で 音楽実技を選択するもの、 中等教育コース保健体育専 攻を第1志望とする者
入 学 資 格 認 定 書	本学において個別の入学資格審査により入学資格を認定された者は、調査書に代えて、本学発行の入学資格認定書の写し（理学部志願者のみ本学発行の入学資格認定書の写し及び活動調書（上記参照））を提出してください。	該当者のみ
返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードしA4サイズで印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 384円分の郵便切手を必ず貼ってください。	医学部医学科志願 者以外の者
返信用封筒 (第1段階選抜結 果通知送付用)	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードしA4サイズで印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 704円分の郵便切手を必ず貼ってください。	医学部医学科志願 者のみ

注 「高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込み」以外の調査書等について

1 高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有する者として認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者の調査書（学校長が作成し、厳封したもの）については、文部科学省所定の様式に準じて作成したものを提出してください。

2 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書（合格証明書とは異なります。理学部志願者は合格成績証明書及び活動調書（16ページ参照））をもって調査書に代えることができます。

なお、一部の科目を高等学校等で修得した者は、在学期間中の調査書、成績証明書又は単位修得証明書のいずれか一つを併せて提出してください。提出できない場合は、高等学校等が作成した「発行できない旨の理由書」を提出してください。

また、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を令和2年3月31日までに高等学校等で修得見込みの者は、文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。

3 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者は、成績証明書（理学部志願者は成績証明書及び活動調書（16ページ参照））をもって調査書に代えることができます。

4 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者は、卒業・修了（見込）証明書及び成績証明書（理学部志願者は卒業・修了（見込）証明書、成績証明書等及び活動調書（16ページ参照））をもって調査書に代えることができます。

なお、学校教育における12年の課程を修了した者等に準ずる者で文部科学大臣の指定した者は、検定試験（例：大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等）実施機関の長が発行した検定の合格証書又は当該教育施設の長が発行した教育施設の当該課程の修了（見込）を証明する書類（理学部志願者は合格証書又は修了（見込）証明書及び活動調書（16ページ参照））を提出してください。

日本国の高等学校等に在学したことがある場合には、在学高等学校等の調査書（学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。

また、国際バカロレア資格取得者、ドイツアビトゥア資格取得者、フランスバカロレア資格取得者、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE Aレベル資格）取得者、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC*1、ACSI*2、CIS*3）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者については、成績証明書等（理学部志願者は成績証明書等及び活動調書（16ページ参照））をもって調査書に代えることができます。

日本語以外の言語で記載された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。

*1 WASC … ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ

*2 ACSI … アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル

*3 CIS …… カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ

※調査書の代用書類について不明な点がある場合は、教育学生支援部入試課（68ページ参照）までお問い合わせください。

4) 出願書類（活動報告書）入力上の注意（教育学部のみ）

A, B, Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）郵送してください。

- A「意欲的に取り組んだ活動」
- B「課題研究等」
- C「資格・検定等」

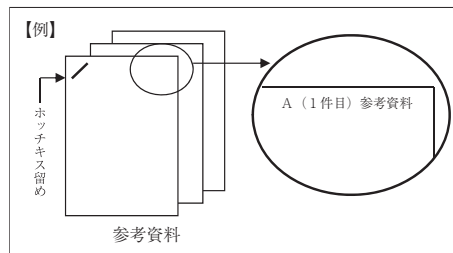
次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

中学校卒業後に意欲的に取り組んだ活動について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。

【注意事項】

1. 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
2. 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。
3. 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - (1) 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
 - (2) 参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に、何を提出するかを入力してください。
 - (3) 参考資料は調査書などの書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。
 - (4) 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。
 - (5) すべての資料はA4サイズとし、サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーをとってください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A4用紙にコピーしてください。資料はA4の表面3枚以内とし、裏面は使用しないでください。
 - (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。
 - (7) 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（○件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。



B「課題研究等」

課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。

【注意事項】

1. 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。
2. 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
3. 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。
4. 参考資料の提出が必要と判断した場合は、大学から提出を求めることがあります。その場合を除き、参考資料の提出は認められません。

C「資格・検定等」

取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。

【注意事項】

1. 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
2. 合格証書や認定書、スコアシート等（以下、証拠書類）が手元がない場合は入力してはいけません。
3. 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。
4. 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。
5. 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験やグループディスカッションを受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

8 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合
- ④ 医学部医学科志願者で、第1段階選抜に不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

上記④の場合は、13,000円を返還します。返還手続については、第1段階選抜結果通知の際にお知らせします。

上記⑤の場合は、13,000円（法文学部の「夜間主コース」は、7,800円）を返還します。返還手続については、「検定料相当額返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 松山市道後樋又10番13号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話番号 089-927-9074, 9077 Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp

9 受験票等の送付（前期日程及び後期日程）

受験票、連絡事項その他は、令和2年2月12日（水）頃発送します。

なお、受験票等が令和2年2月19日（水）までに未着の場合は、教育学生支援部入試課（68ページ参照）へ連絡してください。

10 注意事項

- (1) 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照のこと。）を志願する者は、「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つ、「中期日程」の公立大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。

したがって、「前期日程」の大学・学部等から2つ又は「後期日程」の大学・学部等から2つを選んで出願することはできません。

- (2) 前期日程の大学に合格し、入学手続を完了した者は、「後期日程」又は「中期日程」の大学・学部等を受験しても合格者とはなりません。

なお、国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

- (3) 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照のこと。）の推薦入試に合格した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても、合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、推薦した学校長から、令和2年2月19日（水）までに「推薦入学辞退願」を提出し、当該大学・学部等の許可を得た場合は、この限りではありません。
- (4) 国公立大学のAO入試に合格し、入学手続を完了した者は、本学の前期・後期日程試験を受験しても合格者とはなりません。
- AO入試の合格者は、令和2年2月19日（水）までに「入学辞退届」を提出しない場合は、前期・後期日程試験の合格者とはなりません。
- (5) 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、68ページ「入学試験の照会方法」の連絡先に連絡してください。なお、出願書類は返還しません。
- (6) 出願書類に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (7) 愛媛大学受験票及び大学入試センター試験受験票は、個別学力検査等受験、入学手続及び入学試験個人成績等開示請求の際必要ですので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。
- (8) **各学部・学科等が指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、自分が受験した教科・科目と志願する学部・学科等が課しているセンター試験の教科・科目との照合を必ず行ってください。**
- (9) **各学部・学科等が課している個別学力検査等の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合は、合格者選考の対象となりません。**
- (10) 本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学（提供大学）の入試過去問題、あるいは類似問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、ホームページで公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しております。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

V 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等の結果並びに調査書の内容により、合否判定基準に基づき判定します。
- (2) 医学部医学科においては、入学志願者の募集人員に対する倍率が前期日程において約6倍を上回った場合、後期日程において約20倍を上回った場合、大学入試センター試験の成績及び調査書の内容により、第1段階選抜を行い、その合格者に対してのみ個別学力検査等を行います。
- 第1段階選抜の結果については、前期日程・後期日程ともに令和2年2月12日（水）頃に「速達・簡易書留郵便」で発送します。
- 第1段階選抜合格者には、選抜結果通知書、愛媛大学受験票及び連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書及び検定料返還についての書類等を送付します。

理学部

1 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

日程	学科等		受験を要する教科・科目等 教科・科目の採用方法				本人 確認欄		
前期 日程	理 学 科	数 学 受 験 物 理 受 験 化 学 受 験 生 物 受 験 地 学 受 験	5教科 7科目	国語	「国語」	必須			
				地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
				公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
				数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須			
					「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択			
				理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択	
				外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)									
後期 日程	理 学 科	A (数 学) B (面 接)	5教科 7科目	国語	「国語」	必須			
				地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	1科目選択			
				公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」				
				数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須			
					「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」 (注2参照)	1科目選択			
				理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	から2	D	2科目選択	
				外国語	「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 (注3参照)	1科目選択			
◆「地理歴史, 公民」において2科目を受験している場合は, 第1解答科目を採用する。 (注1参照)									

注1 ◆は, 学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の, 科目の採用方法を示します。

注2 大学入試センター試験の「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答できる者は, 高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限ります。

注3 大学入試センター試験の「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は, 筆記とリスニングの両方を必ず受験してください。筆記又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には, 「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

大学入試センター試験の理科の選択方法については, 次のように表記しています。

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目を選択→A

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→B

「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目及び「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目を選択→C

「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目を選択→D

理学部

2 個別学力検査等の教科・科目等

日程	学 科 等		教 科	科 目 等	試験時間
前期日程	理 学 科	数 学 受 験	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)	120分
		物 理 受 験	理 科	物理基礎・物理 (注2参照)	100分
		化 学 受 験	理 科	化学基礎・化学 (注3参照)	100分
		生 物 受 験	理 科	生物基礎・生物 (注4参照)	100分
		地 学 受 験	理 科	地学基礎・地学 (注5参照)	100分
後期日程	理 学 科	A (数 学)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (注1参照)		120分
		B (面 接)	面接(口頭試問を含む。)		

- 注1 数学のうち、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
数学Bについては、「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。
- 注2 理科の「物理基礎」、「物理」は、全範囲から出題します。
- 注3 理科の「化学基礎」、「化学」は、全範囲から出題します。
- 注4 理科の「生物基礎」、「生物」は、全範囲から出題します。
- 注5 理科の「地学基礎」、「地学」は、全範囲から出題します。

3 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点															
日程	学科等	試験 教科等	大学入試センター試験								個別学力検査等				
			国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	計	数学	理科	調査 書等	計
						①	②	①	②						
前期日程	理 学 科	数 学 受 験	100	(50)	(50)	75	75	-	200	200	700	300	-	100	400
		物 理 受 験	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	100	400
		化 学 受 験	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	100	400
		生 物 受 験	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	100	400
		地 学 受 験	100	(50)	(50)	100	100	-	150	200	700	-	300	100	400
後期日程	理 学 科	A (数 学)	100	(50)	(50)	100	100	-	200	150	700	300	-	100	400
		B (面 接)	100	(50)	(50)	100	100	-	200	150	700	-	300	100	400

- 注1 () は、選択科目の配点を示します。
- 注2 大学入試センター試験の「英語」の配点は、下記のとおりとします。

英語の配点	筆記	リスニング	計	リスニングを 免除された者
150点としている場合	120点	30点	150点	筆記を150点とする。
200点としている場合	160点	40点	200点	筆記を200点とする。

- 注3 大学入試センター試験の数学と理科の配点等については、次のようにグループ分けしています。
「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」→ 数学①
「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」→ 数学②
「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」→ 理科①
「物理」、「化学」、「生物」、「地学」→ 理科②
- 注4 「調査書」を提出できない場合は、活動調書を評価します。

4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期

日程	学科等	教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示時期
前期日程	理学部	理学科共通	調査書 「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「総合的な学習の時間の内容・評価」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。	令和2年3月6日(金) 午前10時
		数学受験	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。	
		物理受験	物理 物理基礎・物理の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 自然現象、実験や観測などにおける物理現象、物理法則の理解度を問う出題を通じて、物理学に対する理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
		化学受験	化学 化学基礎・化学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 観察や実験に基づいて化学的な諸現象を理解する力、化学の基礎的な諸法則の理解度及び諸法則を基に正しい結論を導く力を問うとともに、化学に対する論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
		生物受験	生物 生物基礎・生物の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 生物や生物現象の特徴は、多くの要因が関与して複雑であり、しかも、それらが有機的関連を持っていることである。 このような生物の仕組みや働きについての基本的概念や原理・法則が理解できているかを問うとともに、それらを分析的並びに総合的に考察する能力が養われているかを評価する。	
		地学受験	地学 地学基礎・地学の基礎学力の達成度が採点・評価の対象となる。 地学全般にわたる基礎知識、地球環境や身近な自然に対する観察力、自然現象から本質的な情報を取り出し考察する能力等を重要視するとともに、理解力、論理的思考力、推理力、記述力を総合的に評価する。	
後期日程	理学部	理学科共通	調査書 「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「総合的な学習の時間の内容・評価」等に記載される活動経験やその成果等を踏まえ、「勉学や諸活動に対する意欲」、「主体性や協働性などの態度」等を評価する。 活動調書の採点・評価基準は、調査書に準ずる。	令和2年3月22日(日) 午前10時
		A(数学)	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ及び数学A・数学Bの理解度が採点・評価の対象となる。 数学の基礎をなす諸概念を的確に把握し、応用することができるかを問うとともに、広く数学についての理解力、論理的思考力、計算力、記述力を総合的に評価する。	
		B(面接)	面接 目的意識、勉学意欲、基礎的知識、理解力、表現力などについて総合的に評価する。	

5 合否判定基準〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

日程	事項 学科	合 否 判 定 基 準		
		総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同点者の順位決定基準
前期日程・後期日程	理 学 科	○		同点者は、同順位とする。

Ⅶ 個別学力検査等の実施日時及び試験場

1 日時等

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等		個 別 学 力 検 査 等 の 日 時				
				2月25日(火)		2月26日(水)		
前 期 日 程	法文学部	人文社会学科「昼間主コース」		外国語 9:00～10:40	国語 11:30～13:10			
		人文社会学科「夜間主コース」			国語 11:30～13:10			
	教育学部	初等教育コース	幼年教育サブコース		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10	グループディスカッション 9:30～	
			小学校サブコース		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10		
					実技検査(音楽実技) 9:00～			
					実技検査(美術実技) 9:00～11:00			
					実技検査(体育実技) 9:00～13:00			
		国語教育専攻			国語 11:30～13:10			
		社会科教育専攻		外国語 9:00～10:40	国語 11:30～13:10			
		英語教育専攻		外国語 9:00～10:40				
		中等教育コース 数学教育専攻			数学 11:30～13:10			
		理科教育専攻		理科 9:00～10:40				
		技術教育専攻		理科 9:00～10:40	数学 11:30～13:10			
		保健体育専攻		実技検査(体育実技) 9:00～13:00				
		家政教育専攻		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10			
	特別支援教育コース		理科 外国語 9:00～10:40	国語 数学 11:30～13:10	面接 9:30～			
	社会共創学部	産業マネジメント学科		総合問題 9:00～10:30				
		産業イノベーション学科		面接 9:00～				
		環境デザイン学科		外国語 9:00～10:40	面接 12:00～			
		地域資源マネジメント学	農山漁村マネジメントコース		面接 9:00～	グループディスカッション 面接終了後～		
文化資源マネジメントコース			面接 9:00～	グループディスカッション 面接終了後～				
スポーツ健康マネジメントコース			実技検査(体育実技) 9:00～	面接 実技検査終了後～				

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等		個 別 学 力 検 査 等 の 日 時			
				2月25日(火)			2月26日(水)
前 期 日 程	理 学 部	理 学 科	数 学 受 験		数 学 11:30~13:30		
			物 理 受 験 化 学 受 験 生 地 物 学 受 験	理 科 9:00~10:40			
	医 学 部		医 学 科	理 科 9:00~10:40	数 学 11:30~13:30	外 国 語 14:40~16:40	面 接 9:00~(注)
			看 護 学 科	小 論 文 10:00~11:00	面 接 ・ グ ル ー プ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 12:30~(注)		面 接 ・ グ ル ー プ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン 9:00~(注)
	工 学 部	工 学 科	理 型 入 試 (社会デザインコース を除く)	理 科 9:00~10:40	数 学 11:30~13:30		
			文 理 型 入 試 (社会デザインコース)	外 国 語 9:00~10:40	数 学 11:30~13:10		
	農 学 部		食 料 生 産 学 科	理 科 9:00~10:40	数 学 11:30~13:10		
生 命 機 能 学 科							
生 物 環 境 学 科							

注 医学部医学科の面接及び看護学科の面接・グループディスカッションの日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

日程	学部	学 科 ・ 課 程 等		個 別 学 力 検 査 等 の 日 時				
				3月12日(木)		3月13日(金)		
後 期 日 程	法 文 学 部	人文社会科学科「昼間主コース」		小論文 9:00~11:00				
		人文社会科学科「夜間主コース」						
	教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 教 育 コ ー ス	小学校サブコース	面 接 9:00~			
	理 学 部	理 学 科	A (数 学)		数 学 9:00~11:00			
			B (面 接)		面 接 9:00~			
	医 学 部	医	学 科		総合問題 9:00~11:00		面 接 13:00~ (注)	面接9:00~ (注)
	工 学 部	工 学 科	理 型 入 試 (社会デザインコースを 除く)		数 学 9:00~11:00			
			文 理 型 入 試 (社会デザインコース)		小論文 9:00~10:30			
	農 学 部	食 料 生 産 学 科			面 接 9:00~			
生 命 機 能 学 科								
生 物 環 境 学 科								

注 医学部医学科の面接日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。

2 試験場

志願学部	試 験 場	所 在 地
法 文 学 部	共 通 講 義 棟 A	松山市文京町3番
教 育 学 部	教 育 学 部	松山市文京町3番
社 会 共 創 学 部	共 通 講 義 棟 B	松山市文京町3番
理 学 部	理 学 部	松山市文京町2番5号
医 学 部	医 学 部	東温市志津川454
工 学 部	共通講義棟C・工学部本館・4号館	松山市文京町3番
農 学 部	農 学 部	松山市樽味3丁目5番7号

注1 試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票送付の際又は送付後に通知します。

注2 試験場への経路は、69ページ「試験場・試験場案内・交通機関案内」を参照してください。

VIII 合格者発表

1 合格者発表の日時

〈前期日程〉 令和2年3月6日(金) 10時

〈後期日程〉 令和2年3月22日(日) 10時

2 合格者発表の方法


(1) 合格者には、合格通知書、入学手続関係書類及び入学案内を郵送します。

(2) 合格者の受験番号は、教育学生支援部掲示場で発表します。

なお、医学部及び農学部については、当該学部掲示場にも発表します。

(3) 合格者の受験番号をwebサイトで確認することができます。合格者発表日の11時に入試情報webサイトに掲載します。なお、合格発表と同時にアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスされるようお願いします。

ただし、Web上での発表は参考として閲覧の上、必ず上記(1)又は(2)の合格者発表により確認してください。

webサイト (携帯電話・パソコン共通)	
https://daigakuje.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	
前期日程	令和2年3月6日(金) 11時 ~ 令和2年3月15日(日) 17時
後期日程	令和2年3月22日(日) 11時 ~ 令和2年3月27日(金) 17時

注 電話等による合否結果の照会には一切応じられません。

【合否電報等に注意】

例年、試験場周辺において本学職員を装うなどして、受験者に「合否連絡をする」、「緊急時に自宅に連絡する」などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。試験当日、本学職員が受験者に現金を要求することは一切ありませんので注意してください。

IX 入学手続

合格者は、入学手続期間内に必要書類を郵送(後期日程は郵送又は持参)により提出してください。詳細については、合格通知の際に送付する「入学案内」を参照してください。

1 入学手続期間

〈前期日程〉

○令和2年3月15日(日) 17時必着 (原則として郵送のみ)

郵送する際に、3月15日(日)の17時までに必着することを最寄りの郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。やむを得ず持参する場合は、3月14日(土)及び3月15日(日)の10時から17時までの間に限り、手続を行うことができます。その場合は、前もって入試課(56ページ参照)へ連絡してください。

〈後期日程〉

○郵送する場合…… 令和2年3月27日(金) 17時必着

郵送する際に、3月27日(金)の17時までに必着することを最寄りの郵便局で確認し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。

○持参する場合…… 令和2年3月26日(木)及び27日(金)の両日も9時から17時まで

2 必要書類等

書類等	摘要	備考
宣誓書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの	合格通知書とともに送付します。
保証書	同上	
学生記録	同上	
学生証写真票	同上	
令和2年度大学入試センター試験受験票	大学入試センター発行のもの	入学手続完了後に返還します。
令和2年度愛媛大学受験票	本学発行のもの	
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可）	
住民票の写し (日本国籍を有しない者のみ提出してください。)	市区町村長が発行したもの	
写真 (白黒又はカラー)	縦4cm×横3cmのもの2枚(上半身、無帽、正面向きで3か月以内に撮影したもの) 1枚は、学生記録の写真欄に貼ってください。 1枚は、学生証写真票に貼ってください。	
入学料、授業料及びその他の経費	59ページ「XIII 初年度の諸経費等」を参照	

3 注意事項

- (1) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。
- (2) 本学の合格者であって、本学へ入学する意志がなく、入学を辞退しようとする場合は、入学手続期間内に「入学辞退届」（詳細については合格通知の際に送付する「入学案内」をご確認ください。）を必ず送付してください。なお、入学手続期間内に入学辞退届を送付する時間的余裕がない場合は、合格した学部の連絡先（68ページ参照）に電話連絡の上、「入学辞退届」をFAX等にて速やかに送付し、原本を速達にて送付してください。
- (3) 入学手続完了後は、これを取り消して他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照のこと）に入学手続をすることができません。
- (4) 「大学入試センター試験受験票」を紛失した場合は、大学入試センターに再発行の申請を行い、再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合、当初発行のものは無効となります。
申請方法は、「大学入試センター試験受験案内」を参照してください。

4 入学手続書類等の送付先又は持参先

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 電話番号 089-927-9172, 9173（8時30分から17時まで） F A X 089-927-9180

X 受験上の注意

- 1 試験前日（前期日程は令和2年2月24日(月)、後期日程は3月11日(水)）の午前10時に、志願学部試験場の掲示場に、試験時間割、試験室、面接等について掲示します。あらかじめ必要事項を確かめておいてください。
なお、試験室の下見は認められません。
- 2 試験当日は、**試験開始30分前**には試験場に到着し、指定された試験室に入室してください。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- 4 試験当日は、「**愛媛大学受験票**」と「**大学入試センター試験受験票**」を必ず持参してください。（入学手続、追加合格及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。）
受験票を紛失又は試験当日忘れた場合には、早めに試験場本部に行き、仮受験票の交付を受けてください。
- 5 試験時間中、机の上に置けるものは、上記4の受験票（2枚）のほか、黒鉛筆（シャープペンシルも可。ただし、シャープペンシルの芯ケースは、かばんに入れておくこと。）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ等を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
- 6 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。試験時間中に身につけている場合、不正行為とみなすことがあるので注意してください。これらを時計として使用することはできません。
- 7 試験室内では、**英文字がプリント**されている上着等は着用しないでください。
- 8 座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英文字や地図等がプリントされていないものは使用を認めます。
健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
- 9 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
- 10 解答用紙には受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- 11 不正行為を行った場合は、当該試験の受験を無効とし、それ以後の受験も認めません。
- 12 試験場の掲示場には、連絡事項を掲示することがありますので、休憩時間中は掲示に注意してください。
- 13 試験日の**前日及び当日の自動車、バイク**での試験場構内への**乗り入れを禁止**します。
- 14 大学周辺の道路は駐車禁止ですので、できる限り公共交通機関を利用し、保護者等による送迎はご遠慮ください。
- 15 受験票を紛失したとき又は不明なことなどがあれば、志願学部の入試係（68ページ参照）に申し出て指示を受けてください。

XI 合理的配慮を希望する入学志願者の出願

本学では、障がい等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いします。

- ・受験上の合理的配慮希望申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>)
- ・障害者手帳（身体障害者手帳，療育手帳，精神障害者保健福祉手帳の所持者）の写し又は医師の診断書（写しでも可）等，障がい等の現況が確認できる資料
- ・大学入試センターから送付された「受験上の配慮決定事項通知書」の写し

(注) 日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要になります。なお、座布団、膝掛け、タオル（サイズは問わない）、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（68ページの入学試験の照会方法参照）

XII 欠員補充の方法

1 追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加して合格者を決定することがあります。

この場合、追加合格候補者に該当する受験者へ令和2年3月28日（土）～3月31日（火）の間（8時30分～17時）に、電話により、インターネット出願で登録した「志願者連絡先」に連絡して入学意思の確認を行いますので、本人が不在の場合でも連絡が直ちに取れるよう所在を明らかにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格を決定した時点で指示します。

注1 追加合格の対象者は、いずれの国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）を参照のこと。以下同じ。）にも入学手続をしていない者です。国公立大学・学部に入学者選抜試験を完了した者が、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。

注2 本学から連絡の際、追加合格候補者が不在等のため、本人との連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

注3 追加合格候補者は発表しません。また、電話等による問い合わせには応じません。

注4 前期日程と後期日程の入学者選抜者の合計数が、一般入試全体の募集人員を満たしている場合は、どちらかの試験日程で欠員があっても追加合格を行わないことがあります。

2 欠員補充第2次募集

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、令和2年3月28日（土）～4月1日（水）の間に欠員補充第2次募集要項を発表します。

なお、出願資格は、本募集要項8ページ「II 出願資格」の条件を満たし、かつ、次のいずれかに該当していなければなりません。

- (1) 令和2年3月24日（火）の時点で、いずれの国公立大学にも合格していない者（いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。）
- (2) 令和2年3月24日（火）の時点で、国公立大学に合格していた者で、第2次募集出願時に、いずれの国公立大学にも入学手続をとっていない者

ⅩⅩ 初年度の諸経費等

1 初年度の諸経費

初年度に必要な経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	計
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕	71,660円	889,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
社 会 共 創 学 部			44,660円	862,460円
理 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			155,800円 (86,370円)	973,600円 (904,170円)
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円 後期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、平成31年度納付額であり、令和2年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費とは、学生教育研究災害傷害保険料及び校友会並びに後援会費等の合計金額（金額については、変更される場合があります。）です。

注3 医学部（ ）内は、看護学科の金額を示します。

2 納付金の納入

- (1) 入 学 料 **282,000円**（法文学部「夜間主コース」は、**141,000円**）
 納入期間 **各日程の入学手続締切日まで**
 なお、欠員補充第2次募集の場合は、合格者に納入期間等を通知します。
- (2) 授 業 料 前期分 **267,900円**〔年額 **535,800円**〕
 （法文学部「夜間主コース」は、**133,950円**〔年額 **267,900円**〕）
 納入期間については、合格通知の際にお知らせします。
※在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料を適用します。
- (3) その他の経費
 納入期日等については、別途通知します。
 その他の経費には、教科書購入費は含まれていません。
- (4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

履修コース

1 法文学部の履修コースの決定

法文学部では、昼間主コースには「法学・政策学履修コース」「グローバル・スタディーズ履修コース」「人文学履修コース」の3つの履修コースを、夜間主コースには「法学・政策学履修コース」「人文学履修コース」の2つの履修コースを設けています。

1年次終了時点で、自分自身の興味関心及び将来像に従って履修コースを選択し、2年次前学期の終了時点で専攻する分野と指導教員を決定します。

履修コースの振り分けは、学生の希望と1年次の学業成績、その他各コースの定める要件によって行います。各コースの担当教員数に応じて以下のように目安となる定員を設定しますが、定員には余裕を持たせ、できるだけ学生の希望を反映する振り分けを行います。

	昼間主コース	夜間主コース
法学・政策学履修コース	115人	45人
グローバル・スタディーズ履修コース	60人	
人文学履修コース	100人	45人

それぞれの履修コースの特徴は、次のとおりです。

(1) 法学・政策学履修コース

社会科学の知識を基に、現代社会の問題を見極めて分析を行い、問題の解決へと導く能力を養います。法律学・政治学・経済学をとおして、公共政策及び企業活動に対する理解を深めて、実務において必要とされる基礎力を身につけていきます。法律学・政治学・経済学のいずれかを専門的に学ぶこともできます。

(2) グローバル・スタディーズ履修コース

グローバルに活動できる人間になるために、語学力・協働力・交渉力をバランスよく身につけます。そのために、外国語の習得に力を入れるのはもちろんのこと、人文社会系の知識を身につけ、海外での学びをとおして、実地にそれを活かす感覚を養います。国の内外を問わず、グローバルな視点に立つことが求められる場で活躍できます。

(3) 人文学履修コース

思想・心理・歴史・社会・文学・芸術・言語について専門的に学ぶことができます。人文系の学びにおいては、物事を冷静に見つめて粘り強く考え、人間の幸福にとって何が大事なのかを見極めることを重視します。人文系の学びをとおして、人間への洞察を深めて、社会にそれを活かすことができるようになります。

2 教育学部のコース等の決定

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、初等教育コース（幼年教育サブコース、小学校サブコース）、中等教育コース（国語教育専攻、社会科教育専攻、英語教育専攻、数学教育専攻、理科教育専攻、技術教育専攻、音楽教育専攻、美術教育専攻、保健体育専攻、家政教育専攻）及び特別支援教育コースを設けています。実践的なカリキュラムと相互に尊重し、啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

本課程のコース、サブコース、専攻の選抜試験により、所属コース、サブコース、専攻が決定されます。入学後はコース、サブコース、専攻の変更は認められません。

3 社会共創学部のコース配属

(1) 産業マネジメント学科

本学科では、「産業マネジメントコース」「事業創造コース」の2つのコースを設けています。1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(2) 産業イノベーション学科

本学科では、「海洋生産科学コース」「紙産業コース」「ものづくりコース」の3つのコースを設けています。1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(3) 環境デザイン学科

本学科では、「環境サステナビリティコース」「地域デザイン・防災コース」の2つのコースを設けています。1年次終了時にコース希望調査を行い、配属を決定します。希望者数が極端に偏る場合は、希望どおりに配属されない場合があります。

(4) 地域資源マネジメント学科

本学科では、「農山漁村マネジメントコース」「文化資源マネジメントコース」「スポーツ健康マネジメントコース」の3つのコースを設けており、コース毎に入学選抜試験を実施し所属コースが決定されます。

4 理学部の教育コース

理学部では、数学・数理情報コース、物理学コース、化学コース、生物学コース、および地学コースの5つの教育コースを設けており、入学者は2年次より各コースに所属します。一般入試・前期日程および後期日程による入学者は、受験科目にかかわらず、自分自身の興味・志向に応じて教育コースを選択することができます。推薦入試による入学者は、受験時に選択した教育コースに所属することになります。

5 医学部看護学科の履修

保健師国家試験受験資格

医学部看護学科では、保健師教育課程に選択制を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、3年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

6 工学部工学科のコースへの配属について

幅広い知識を身につけるために、志望する教育コースの修了要件に基づいて、必要な科目を自由に履修することができます（一部制限あり）。また、履修やコース決定にあたっては、きめ細かなサポートを受けることができます。

希望調査および1年次で単位取得した科目の成績によって、2年次開始時に各教育コースに配属されます。推薦入試および文理型入試で合格した学生は、入学時に指定された教育コースとなりますが、1年次の履修状況によって配属を変更することができます。

〔機械・システム分野〕

・ 機械工学コース（70名程度）

技術者として必要な幅広い教養と工学の基礎となる数学・自然科学・情報技術に関する知識と能力を修得し、地域社会および国際社会における幅広い産業分野で重要な役割を担うことができる機械技術者を育成することを目的とする。

・知能システム学コース（20名程度）

知能システム技術者として必要な幅広い教養と工学の基礎となる数学・自然科学・情報技術に関する知識と能力を修得し、地域社会及び国際社会における幅広い産業分野で重要な役割を担うことが出来る知能システム技術者を育成することを目的とする。

〔電気・情報分野〕

・電気電子工学コース（80名程度）

数学・物理学の基礎的知識および電気電子工学に関する専門的知識を修得し、電気エネルギーに関わる技術から、信号処理や通信システムなど情報をつかさどる技術、さらに半導体などの材料技術にいたるまで、電気電子工学について豊かな教養を持つ、実践的能力を身につけた社会に貢献できる技術者を育成することを目的とする。

・コンピュータ科学コース（40名程度）

実世界から収集されたデータとサイバー空間を適切に活用した知能情報社会を構築するために必要な数理科学、組み込みシステムを含むコンピュータ科学および機械学習を含むデータサイエンスの知識・技術を修得し、地域社会から国際社会におけるさまざまな課題を発見するだけでなく、課題解決のためにデータを分析し、立場の異なるメンバーからなるチームにおいて協働することでその解決方法をコンピュータシステムとして実現できる創造性に富んだ技術者を育成することを目的とする。

・応用情報工学コース（40名程度）

情報工学・通信工学の技術者や研究者として必要な専門的な知識を教授し、それを活かす知恵と、成果をもたらす行動特性とされている、持続的な自己成長力や意思伝達力、協働力などのコンピテンシーを育むことで、社会に存在する現実の課題を実現可能な方法で解決する実践的能力を備え、活躍できる能動的な技術者を育成することを目的とします。

〔材料・化学分野〕

・材料デザイン工学コース（70名程度）

材料に対する感性を磨き、物質やその機能に関する幅広い基礎理論と材料工学に関わる技術を修得し、グローバルな視野からの多面的な判断によって材料工学を科学技術・産業・社会の発展の為に主体的に行使することができる人材を育成することを目的とする。

・化学・生命科学コース（90名程度）

化学・生命科学に関連する専門知識、幅広い教養及び技術者・研究者としての倫理を修得し、社会や自然環境と調和した専門的職業人及び技術者となる人材、また、先端の化学理論・技術、生命科学に関する研究活動を通じて、科学技術の発展に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

〔土木・環境分野〕

・社会基盤工学コース（65名程度）

自然科学と社会基盤工学に係わる体系的な知識を修得し、自然環境との調和を図りながら、次世代の社会基盤の整備及び維持管理を担うことができ、持続可能な開発目標に向かって世界の建設シーンにおいて活躍することができる技術者を育成することを目的とする。

・社会デザインコース（25名程度）

自然科学と社会基盤工学に係わる基礎知識を修得し、また、公共経済、デザイン、景観のセンスなど多様な能力を身につけることで、持続可能な環境創造、豊かなまちづくり及び地域デザインを担うことができる技術者を育成することを目的とする。

7 農学部のコースへの分属

農学部では、3つの学科にそれぞれ1～3つのコース（特別コースは除く）が設置されており、2年次前学期開始時に、所属している学科のいずれか1つのコースに分属します。

コースの内容については、「愛媛大学農学部案内」を参照してください。

(1) 学科及びコース

食料生産学科

農業生産学コース

植物工場システム学コース

食料生産経営学コース

生命機能学科

応用生命化学コース

生物環境学科

森林資源学コース

地域環境工学コース

環境保全学コース

(2) コースへの分属

1) 分属要件及び分属方法

1年次後学期までに分属要件を満たした（所定の単位を修得した）者について、本人の志望と入学後に修得した成績を基に分属を決定します。

2) コース分属の説明

コース分属については、入学後、ガイダンス等で詳しく説明します。

平成31年度 入学者選抜当初合格者の成績一覧

日程	学部	学科・課程等	募 集 員 数	当 初 合 格 者 数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点					
					満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点		
前 期 日 程	法文学部	人文社会科学「昼間主コース」		175	180	750	618.40	501.40	548.82	500	377.00	273.00	325.20	1,250	995.40	834.85	874.01	
		人文社会科学「夜間主コース」		40	42	750	598.20	451.90	485.90	250	207.00	162.00	178.79	1,000	766.20	642.70	664.69	
	教育学部	学校教育 課程	初等教育 コース	幼年教育サブコース	6	6	900	開示しない			400	開示しない			1,300	開示しない		
				小学校サブコース	58	66	900	703.80	560.80	613.45	400	331.00	214.00	270.47	1,300	986.80	837.40	883.92
		中等 教育 コース	言語・社会 教育系	国語教育専攻	14	5	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない		
				社会科教育専攻		6	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない		
				英語教育専攻	4	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない			
			自然 科学系	数学教育専攻	13	5	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない		
				理科教育専攻		5	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない		
				技術教育専攻	3	800	開示しない			400	開示しない			1,200	開示しない			
				音楽教育専攻	4	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない			
		芸術・生活 健康系	美術教育専攻	13	3	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない			
			保健体育専攻		4	900	開示しない			600	開示しない			1,500	開示しない			
				家政教育専攻		4	900	開示しない			300	開示しない			1,200	開示しない		
				特別支援教育教員養成課程	12	13	800	633.40	471.20	537.91	400	316.00	246.00	282.54	1,200	928.40	749.60	820.45
	社会共創 学部	産業マネジメント学科		48	58	700	534.00	441.50	481.05	300	218.50	138.00	178.66	1,000	752.50	628.10	659.71	
		産業イノベーション学科		13	15	700	519.00	386.90	449.41	300	開示しない			1,000	開示しない			
		環境デザイン学科		25	26	700	536.30	409.80	479.39	300	231.00	147.00	193.19	1,000	745.70	591.60	672.58	
		地域資源 マネジメント 学科	農山漁村マネジメントコース		5	7	500	開示しない			500	開示しない			1,000	開示しない		
			文化資源マネジメントコース		8	9	700	開示しない			300	開示しない			1,000	開示しない		
			スポーツ健康マネジメントコース		12	15	500	430.10	336.05	379.88	500	485.00	405.00	443.07	1,000	883.60	786.00	822.94
		理学部	理学科	数学受験		42	50	700	514.90	415.75	457.44	400	380.00	238.40	301.04	1,100	876.95	682.10
	物理受験			40	42	700	544.45	426.65	474.48	400	351.50	276.50	318.32	1,100	879.45	757.40	792.80	
	化学受験			40	48	700	520.65	396.60	460.73	400	332.00	227.00	272.71	1,100	827.20	678.80	733.44	
	生物受験			30	32	700	508.60	429.55	468.43	400	324.50	240.50	285.13	1,100	824.10	721.90	753.55	
	地学受験			8	8	700	開示しない			400	開示しない			1,100	開示しない			
医学部	医 学 科		40	40	550	510.70	446.30	477.37	700	574.00	460.00	503.04	1,250	1,074.65	947.30	980.41		
	看 護 学 科		33	37	700	557.60	444.00	500.06	300	295.00	132.00	202.41	1,000	798.60	640.40	702.46		
工学部	工学科	理型入試（社会デザインコースを除く）		313	335	600	460.00	331.00	392.23	400	355.00	199.20	275.97	1,000	805.00	615.55	668.20	
		文理型入試（社会デザインコース）		13	16	750	553.20	475.65	506.03	400	290.00	208.00	241.94	1,150	829.20	719.00	747.97	
農学部	食料生産学科		38	44	900	699.20	542.00	591.88	400	351.00	204.00	246.32	1,300	965.20	796.40	838.20		
	生命機能学科		27	30	900	685.60	586.40	629.81	400	321.00	231.00	266.07	1,300	965.60	858.40	895.87		
	生物環境学科		28	37	900	697.40	522.80	595.03	400	309.00	172.00	241.16	1,300	973.40	763.80	836.19		

日程	学部	学科・課程等	募 集 員 数	当 初 合 格 者 数	大学入試センター試験				個 別 試 験				総 合 点					
					満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点	満 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点		
後 期 日 程	法文学部	人文社会科学「昼間主コース」		50	55	500	447.40	401.40	420.55	200	165.00	131.67	143.39	700	595.13	549.87	563.94	
		人文社会科学「夜間主コース」		20	20	500	395.00	347.00	375.09	200	156.67	116.67	144.33	700	545.00	503.67	519.42	
	教育学部	学校教育 教員養成 課程	初等教育 コース	小 学 校 サブコース	10	10	900	683.80	633.20	658.38	200	開示しない			1,100	開示しない		
	理学部	理学科	A（数学）		13	19	700	573.60	494.90	529.82	400	368.00	243.20	313.44	1,100	908.00	785.10	843.26
			B（面接）		10	16	700	570.40	459.30	504.04	400	開示しない			1,100	開示しない		
	医学部	医 学 科		25	25	900	846.50	772.00	806.76	300	273.00	179.00	218.76	1,200	1,074.40	995.40	1,025.52	
	工学部	工学科	理型入試（社会デザインコースを除く）		82	96	700	595.35	434.95	513.21	300	270.00	153.60	217.71	1,000	859.35	673.45	730.92
			文理型入試（社会デザインコース）		6	7	900	開示しない			100	開示しない			1,000	開示しない		
	農学部	食料生産学科		7	8	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない			
		生命機能学科		5	5	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない			
生物環境学科		6	9	900	開示しない			200	開示しない			1,100	開示しない					

注）募集人員又は当初合格者が10人未満の場合は開示しないことになっていきます。また、個別学力検査等において、面接、グループディスカッション、出願書類（調査書、活動調査書等）の組み合わせのみで評価する場合は、個別学力検査等の公表はしません。

入学試験の照会方法

次の志願学部の入試係又は入試課へ照会してください。文書にて照会する場合は、84円分の切手を貼った定形の返信用封筒を同封してください。インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（15ページ参照）へ連絡してください。

学 部 等	住 所	電 話 番 号
法 文 学 部	愛媛大学法文学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教 育 学 部	愛媛大学教育学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
社会共創学部	愛媛大学社会共創学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9019
理 学 部	愛媛大学理学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9546
医 学 部	愛媛大学医学部入試係 〒791-0295 東温市志津川454	089-960-5175
工 学 部	愛媛大学工学部入試係 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農 学 部	愛媛大学農学部入試係 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648
入 試 課	愛媛大学教育学生支援部入試課 〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9173

注意 入試に関する電話による照会（お問合せ）は、月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く。）の9時から17時の間とし、原則として志願者本人が行ってください。

試験場・試験場案内・交通機関案内

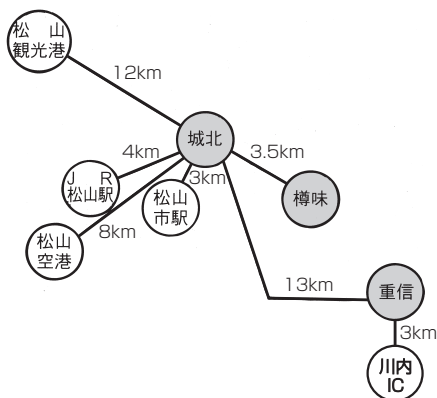
試験場

学部	図標示	試験場	所在地
法文学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
教育学部			
社会共創学部			
理学部	②	重信キャンパス	松山市文京町2番5号
医学部			東温市志津川454
工学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
農学部	③	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

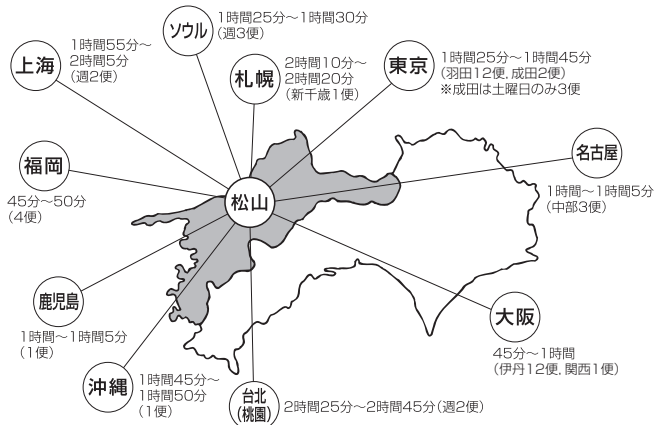


距離



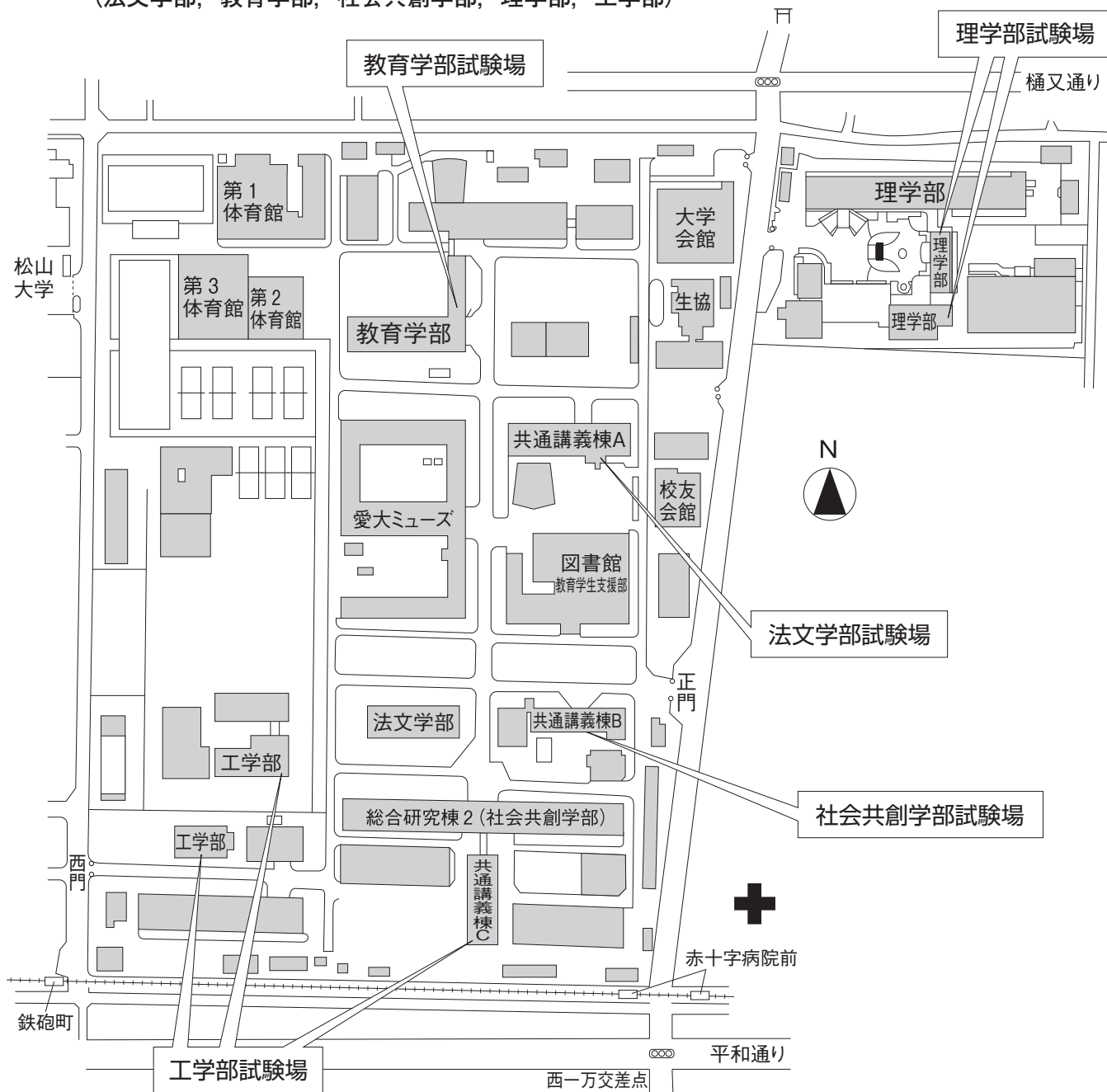
航空路線図

(令和元年7月現在)



1 城北キャンパス

(法文学部, 教育学部, 社会共創学部, 理学部, 工学部)



注 試験場は予定であり, 変更になる可能性があります。試験場については, 受験票送付の際又は送付後に通知します。

〔アクセス〕

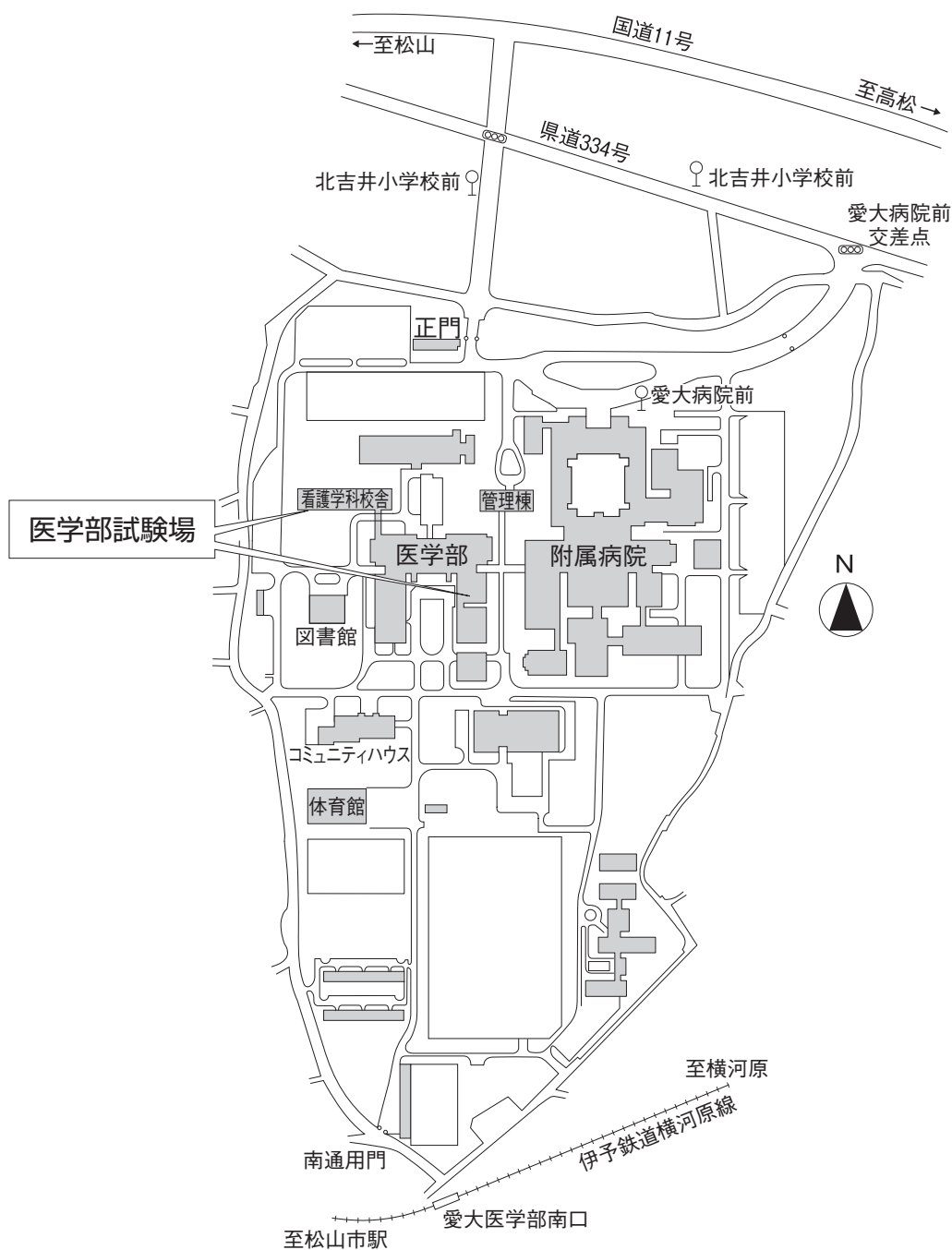
● JR松山駅から

伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

2 重信キャンパス (医学部)



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町（JR松山駅から東へ徒歩5分）から横河原行き 乗車約34分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

● 松山市駅から

伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約40分 北吉井小学校前又は愛大病院前下車 徒歩10分

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約50分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩10分

3 樽味キャンパス (農学部)



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

入学試験個人成績及び調査書の開示

本学では、一般入試の個人成績（大学入試センター試験成績及び個別学力検査等成績）及び調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄は除く。）を受験者本人に限って開示します。令和2年度の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和2年5月1日（金）～令和2年5月31日（日）

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面（記入例参照）により、令和2年度愛媛大学受験票又は令和2年度大学入試センター試験受験票と、414円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（68ページ参照）へ請求してください。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：当該学部に着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

（請求書面記入例）

	令和2年	月	日
愛媛大学〇〇学部長	殿		
	請求者氏名	_____	印
	愛媛大学受験番号	_____	
	連絡先 電話	-	-
	入学試験個人成績・調査書		
	開示請求書		
	令和2年度の〇〇日程試験について、下記のとおり開示請求します。		
		記	
		{ 1. 試験成績	
		{ 2. 調査書	
		開示請求するものを明記してください。	
		「前期」、「後期」の試験区分を記入してください。	

正解・解答例又は出題意図の開示

本学では、令和2年度入学試験の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。

掲示による場合

場 所：教育学生支援部掲示場、医学部掲示場及び農学部掲示場

掲示期間：開示日から2週間

「Ⅵ 入学者選抜の教科・科目及び配点等」各学部該当ページの「4 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示時期」参照

郵送による場合

140円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「〇〇学部（受験した学部）の〇〇（試験科目名）の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、受験した学部の入試係又は教育学生支援部入試課（68ページ参照）へ請求してください。

受付期間：開示日から1か月間

個人情報の取扱い

本学では、出願受付けを通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

愛媛大学入試情報サービス

本学では、入学試験に関する情報を、ホームページ及びスマートフォン・携帯電話サイトで提供します。

なお、自然災害等の発生による試験日程、試験会場の変更等が生じた場合には、「緊急時のお知らせ」として提供することがありますので、御参照願います。

□ ホームページ

本学のホームページでは、「入試情報」の中で、成績開示や各入試の情報等を提供しています。

愛媛大学… <https://www.ehime-u.ac.jp/>

入試情報… <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/>

学生募集要項ダウンロード… <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>



《提供する入試情報》

提供する入試情報	提供時期
大学入試センター試験受験の案内	令和元年12月中旬～
一般入試の出願状況	令和2年1月末～
一般入試合格状況、入学手続の案内	令和2年3月上旬～
追加合格（一般入試）及び欠員補充第2次募集の有無	令和2年3月28日～

注 提供する入試情報は、変更する場合がありますので、あらかじめ御了承願います。

愛媛大学ホームページの他、以下のサイトからでも本学に関する情報を閲覧できます。

「マナビジョン」

URL <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/1410/>

「がんばれ国公立大学受験生!!」

URL <https://daigakujc.jp/ehime-u/>



「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、一般入試において、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用した場合は、入試終了後、本学のホームページで公表します。

なお、「入試過去問題活用宣言」の詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。